

<審査した議案・陳情>

Table with 2 columns: 議案番号 (e.g., 議案第2号, 議案第8号), 内容 (e.g., 霧島市手数料条例の一部改正について), 結果 (e.g., 全会一致で可決).

<審査した議案・陳情>

Table with 2 columns: 議案番号 (e.g., 議案第7号, 議案第9号), 内容 (e.g., 霧島市介護保険条例の一部改正について), 結果 (e.g., 賛成多数で可決).

霧島市国民健康保険税の特別減免及び特例措置を一年間延長

平成24年度から暫定的な負担軽減策として、特別減免措置及び特例措置を講じてきた。国保会計は、赤字続きで極めて深刻な状況が続いているが、本年1月に国が財政支援を含む保険事業への対策と方針を示したことを受け一年間の延長を提案するとの説明。

問 国の支援策の詳細はどうか。

答 平成27年度から低所得者の多い自治体へ財政支援のため、約1700億円が交付される。さらに、消費税10%となる平成29年度から追加で1700億円が拠出される。また、従来対象医療費は1件のレセプト30万円以上だが、平成27年度から1円以上の医療費となり、見込みで3億円の増収と試算している。

▼先の12月議会では同趣旨の陳情審査において不採択となったが、国の方針等を見極めるためにも1年間の延長を支持するとの賛成討論がありました。

霧島市保育の実施に関する条例の廃止

児童福祉法の一部改正に伴い、本条例を廃止するとの説明。

問 市の責任が明確に担保されている条例の廃止が必要なのか。

答 今回の法律の位置付けは、内閣府令により就業時間の下限のみ市町村で定める事由としており、ほかの事由は内閣府令が直接の根拠となっているため、市町村で定めることは不要とされている。▼この条例廃止は、自治体の役割に後退を招く可能性がある。自治体の責務の恒久性は担保されていないとの見解もあるとの反対討論がありました。

▼今後子育て支援は、更に充実・強化されるものと確信するとの賛成討論がありました。

霧島市子どもための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の制定

教育・保育施設等の徴収根拠規定を定めようとするものである。私立保育所については、既存の保育の委託制度が子ども・子育て支援法に規定されているとの説明。

問 市の負担額増加の抑制策になってないか。県内各市の状況はどうか。

答 今後、子育て支援に関連する事業費は確実に増加の方向にある。県内各市の保育園利用料の設定状況は本市と階層区分の設定が異なり、一概に比較・評価できない。

指定管理者の指定

牧園町福祉給食センターを単人老人給食センターに集約し、引き続き

き、単人老人給食センターと福山老人給食センターについては、社会福祉法人霧島市社会福祉協議会を指定管理者とするとの説明。

問 一食610円の単価は見直し時期にきているのではないか。また、民営化も検討すべきではないか。

答 経費的な面も含めて社会福祉協議会に改善努力を要請したい。民営化の議論もあるが、安否確認、栄養状態の維持・管理の事業も付加しているため、現状での事業推進を考えている。



単人老人給食センターの現地調査

丸尾滝線を市道認定

国道223号の改良に伴い、これまで利用されていた丸尾滝前を通る約724mを市道として認定しようとするとの説明。

問 この路線は、台風や大雨による法面崩落や倒木等により、通行止めになったことがあるが、危険な箇所はどうするか。

答 危険な部分については、崩落防止フェンスの延長など、県で安全対策を十分行った後、移管を受けることになる。

国分上小川地区コミュニティ広場建設用地を取得

国分上小川地区にコミュニティ広場を建設するための用地12筆、8752㎡を取得しようとするとの説明。

問 国分にはコミュニティ広場は何か所あるか。利用対象地区住民は何人くらいか。

答 今回建設予定の上小川地区を含めると12か所である。上小川地区で言えば、地区自治公民館の住民数は約2500人である。

関平鉱泉所建替建築工事及び、製造機器設備工事の請負契約締結

関平鉱泉所の現工場は稼働後18年が経過し、製造機器の老朽化による機器の修繕費など、維持管理費が増加傾向にある。また、ミネラルウォーター製造にかかる衛生基準等も変化してきている状況であり、今回、より一層安心安全な対策を講じた工場を「関平鉱泉水」を製造するため、新工場の建設と、新たな製造機器の導入を計画するものである。工場の概要は、鉄筋コンクリート造り2階建

で、延べ床面積約2212㎡であり、延べ床面積は、現工場の2.3倍程度になる。工事請負金額は、4億5000万円である。また、製造機器については、平成25年7月3日に製造機器メーカー3社によるプロポーザルを実施して1社の提案を採用した。契約金額は、2億2693万8240円であるとの説明。

問 将来の経済効果の見通しはどうか。また、新たな商品開発はどう考えているか。

答 売り上げは、10億円を目指している。商品開発については、大出水や水道部管轄の水源地の水を活用した商品化を考えている。

温泉水量は豊富にあるのか。

答 日量45トンしか出ない中で、関平温泉に15トン回している。現在は残量全部を製造していないため、その全量使用や、賞味期限を6か月から1



関平鉱泉所の現地調査